

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 26 年度第 4 回 議事録 (案)

担当 峯岸邦夫 (幹事)

日時	平成 26 年 11 月 11 日 (火) 14:00~17:00					場所	地盤工学会 会議室	
部長	佐藤 毅	○	★理事	大河原 正文	○	幹事	峯岸 邦夫	○
部員	浅田 素之	×	部員	伊貝 聡司	○	部員	長田 昌彦	×
部員	仙頭 紀明	○	★部員	高柳 剛	×	部員	塚本 良道	×
部員	浜田 英治	○	部員	平井 貴雄	×	部員	藤原 照幸	×
★部員	宗像 保男	○	オブザーバー	中川 直	×			

★：H26 年度新任 ○：出席 ☆：出席（電子会議） ◎：代理出席 ×：欠席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-26.4.0	平成 26 年度 第 3 回基準部会議事録案
資料-26.4.1	平成 27 年度基準部予算および事業計画案
資料-26.4.2	「事業企画賞」候補案および審査員選出のお願い
資料-26.4.3	「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説」の英語版に関する覚書
資料-26.4.4	平成 27 年度 JIS 原案作成公募のお知らせ（日本規格協会）
資料-26.4.5	理事会（H26/9/26、10/22）報告資料
資料-26.4.6	ISO/TC190 海外出張
資料-26.4.7	地盤工学用語（表記法委員会案）ご意見に対する回答・質問
当日追加資料	「地盤工学会基準の英訳」に関するガイドライン
当日追加資料	英訳の査読に関するガイドライン
回覧資料 1	日本工業標準調査会 委員会資料

1. 前回議事録の確認

(資料-26.4.0, pp.1-5)

峯岸幹事より、前回議事録(案)について資料に基づき説明があり、一部文言を修正の上、承認された。

2. 全体関係

(1) 平成26年度基準部の活動について(継続)

①中期目標における基準の英文化に関する、地盤工学としての戦略に関して(当日追加資料, pp.42-45)
仙頭部員より、英訳後の原稿査読について、査読者によって温度差が生じているので、学会としての統一感をはかるため作成した査読のガイドライン(案)が当日追加資料により説明され、審議の結果、承認された。

ほかに、3年間で英訳する基準のリストを実行委員へ送ること、査読者へ希望する査読担当基準のアンケートを行うことが承認された。

なお、佐藤部長が改めて工程表を作成することになった。

②試験基準のISO化に際しての確認事項に関して

③平成27年度予算および事業計画案

(資料-26.4.1, pp.6-10)

事務局長尾氏より、資料に基づき一次案の説明がなされ、審議の結果、承認され総務部へ提出することになったが、総務部会より減額の要請があるかもしれないとのことであった。

④第17回事業企画賞候補案および審査員の選出

(資料-26.4.2, pp.11-13)

事務局長尾氏より、資料に基づき説明がなされ、慣例通り峯岸幹事が選出された。

⑤その他

(資料-26.4.3, pp.14-16)

・「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説」の英訳に関する覚書について

佐藤部長より、資料に基づき説明がなされ、第5条全文、第6条1項の「ただし、」以下の文章、同3項の「将来的に」と「その場合～支払うものとする。」の文章を削除することで、承認された。

(資料-26.4.4, pp.17)

・平成27年度JIS原案作成公募(日本規格協会)について

事務局長尾氏より、資料に基づき説明がなされ、現時点で対象の基準はないとのことであった。後刻、基準部員に資料(メール)を転送するので、もし該当するものがあれば申し出ほしいとのことであった。

3. 委員等の異動

- (1) 室内試験規格・基準委員会
- (2) 地盤調査規格・基準委員会
- (3) ISO国内委員会
- (4) 地盤設計・施工基準検討委員会
- (5) 表記法検討委員会
- (6) 技能試験実施委員会
- (7) 部員の異動

4. ISO国内委員会 関係

(1) 国際会議派遣 **すべてメール審議済**

① CEN/TC341/WG6 会議への出席

・行先：マドリッド(スペイン)

・出張者：豊田浩史氏(長岡技術科学大学、ISO国内委員会 委員)

・期間：2014年10月25日～10月31日(会議日：10月27, 28, 29日)

・理由：CEN/TC341/WG6(Laboratory tests on soils: 室内土質試験)において、12の室内土質試験のISO規格の策定が行われてきている。日本は、これらの中で11の規格・基準を有しているため、会議において積極的に意見を発し、我が国への影響がないように対策を進めておく必要がある。今回は、第12回目の会議となるが、ISO規格の今後の動向を把握し、必要に応じて国内委員会において対策を講じる。

・費用：地盤工学会 ISO 対応費

② ISO/TC 190 会議への出席

・行先：ベルリン(ドイツ)

- ・出張者：平田 桂 氏（MCエバテック、ISO/TC190 SC2,SC3,SC7 エキスパート）
- ・期 間：2014年10月19日～10月24日
- ・理 由：ISO/TC190/SC2（sampling：サンプリング）において、アンブレラアプローチ（3段階アプローチ）に関わるISO規格の策定が行われてきている。本規格はその第3レベルにおいてユーザーが目的の違いに応じて規格を選ぶことが可能であり、各国の基準を規格にできるという側面をもつ。また、本規格はSC4WG4やSC7との接点が多く、関連する会議においても積極的に意見を発することで、我が国の法に適した基準作成に利することができる。
当該出張者は、多彩な機器分析のスペシャリストであると同時に、汚染土壌サイトでのサンプリング手法等にも精通した人物である。SC2のみならずSC7やSC3に関しても、有用な知見を有することからエキスパートとして、ISO国際会議への派遣を要請するものである。
- ・費 用：地盤工学会 ISO 対応費

5. 地盤工学表記法委員会 関係

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

9. 技能試験実施委員会 関係

10. 基準部所管刊行物

11. その他

報告事項

1. 理事会（H26/9/26、10/22（書面会議））開催報告 （資料-26.4.4, pp.18-27）

佐藤部長より、資料に基づき基準部に関連する項目について報告がなされた。

2. 全体関係

3. 部会・委員会関係

（1）ISO国内委員会

① 平成26年度ISO対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・土木学会	100万円		○		
・三菱総合研究所（回答作成）	0万円		○		
・三菱総合研究所（旧重点TC旅費）	0万円		○		
・日本建設業連合会	50万円		○		
・ISO/TC190 関係（研究委託）	50万円		○		
・三菱総合研究所（国際標準開発事業）		970万円	○		
小計	200万円	970万円			
合計	1170万円				

② 国際会議派遣

（資料-26.4.5, p.28）

事務局長尾氏より、資料に基づき報告がなされた。

（2）地盤工学表記法委員会

① JIS地盤工学用語（基準部関連委員会からの意見+回答案）

（資料-26.4.6, pp.29-41）

伊貝部員より、資料に基づき説明がなされ、用語を追加するものと削除するもの、定義を修正するものなどがあるとのことであった。

また、将来的に英訳化するののかとの質問が佐藤部長よりあり、JSAの判断で翻訳する可能性があるとの解答であった。ほかに、分類（分野）によって用語集の数に差があるとの感想があった。

（3）室内試験規格・基準委員会

- (4) 地盤調査規格・基準委員会
- (5) 地盤設計・施工基準委員会
- (6) 技能試験実施委員会

浜田部員（藤原部員の代理）より、現在結果を取り纏め中であるとの報告がなされた。

- (7) 販売促進 WG
- (8) 英文HP

事務局長尾氏より、ショッピングカートに赤本と青本の目次を掲載して良いかとの質問があり、佐藤部長より掲載 OK との回答があった。

- (9) 調査研究委員会企画案（地下水関係）

4. 日本工業標準調査会 土木技術専門委員会

(回覧資料 1)

利藤委員の後任として、塚本部員を第一候補とすることになった。

●H26 年度 基準部関係委員会開催状況

委 員 会 名		委員会開催日, 太字は次回開催日
基準部会	佐藤 毅	5/2, 7/8, 9/2, 11/11
ISO 国内委員会 ・WG1 ISO/TC182 対応 ・WG2 ISO/TC190 対応 TC190/SC3/WG10 対応 WG ・WG3 ISO/TC221 対応	今村 聡 木幡 行宏 川端 淳一 坂井 宏行 宮田 喜壽	4/23, 11/4 7/8
室内試験規格・基準委員会 ・WG1 物理特性 ・WG2 化学特性 ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性 ・WG5 安定化・締固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG ・WG13 岩石の一軸引張試験基準化 WG ・WG14 過酸化水素水による土および岩石の酸性化可能性試験方法基準化 WG	川崎 了 (小口和明) (肴倉宏史) (大向直樹) (片岡沙都紀) (藤岡一頼) 木幡 行宏 大島 昭彦 谷 和夫 川地 武	6/20 6/ 11, 7/31 7/3, 8/8, 9/4 7/28
地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層 ・WG2 ボーリング・サンプリング ・WG3 地下水 ・WG4 サウンディング ・WG5 載荷試験 ・WG6 現場密度試験 ・WG7 現地計測 ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング ・WG9 地盤調査の計画, 資料調査・地質調査 ・WG10 不飽和地盤における現場飽和と透水係数の測定方法 (仮称) ・WG11 動的コーン貫入試験方法基準化WG ・WG12 解散 ・WG13 水圧破砕による初期地圧測定法の基準化検討WG ・WG14 単孔を利用した地下水流向流速測定方法の新規基準化WG (削除)	利藤 房男 齊藤 秀樹 正垣 孝晴 中村 裕昭 大島 昭彦 大島 昭彦 三嶋 信雄 上野 将司 江種 伸之 長田 昌彦 西垣 誠 大島 昭彦 伊藤 高敏 進士 喜英 (削除)	8/12 5/26, 9/30, 11/17 4/16 6/23, 9/29 11/20 5/29,

地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	木幡 行宏 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	
地盤工学表記法 ・WG-A	大島 昭彦	4/9, 7/10, 9/16
技能試験実施委員会	日置 和昭	

室内試験規格・基準委員会の開催状況については、後刻、佐藤部長より藤原部員に確認することになった。

5. その他

- 1) 理事会（平成26年11月28日（金））への審議事項・報告事項
審議事項：グラウンドアンカー翻訳に関する覚書
報告事項：基準の英訳化にかする事項（ガイドライン、工程表、作業フロー図など）、国際会議派遣
- 2) 総務部会（平成27年1月13日（火）開催予定）への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日
 - ・ 26年度第5回：第1案 平成27年1月20日（火）14:00～
第2案 平成27年 月 日（ ）14:00～
（対応理事会 H27.1.30 or H27.2.19 ）
 - ・ 26年度第6回：平成27年3月 日（ ） :00～
（対応理事会 H27.3.13 or H27.4.22 ）

★ 平成26年度 理事会 開催日程（予定含む）

- ① 4月23日（水） ※書面審議
 - ② 5月16日（金）
 - ★ 6月12日（木） 総会/理事会
 - ③ 6月19日（木） ※書面審議
 - ④ 7月24日（木）
 - ⑤ 9月26日（金）
 - ⑥ 10月22日（水） ※書面審議
 - ⑦ 11月28日（金）
 - ⑧ 12月24日（水） ※書面審議
 - ⑨ 1月30日（金）
 - ⑩ 2月19日（木） ※書面審議
 - ⑪ 3月13日（金）
-
- ⑫ 4月22日（水） ※書面審議
 - ⑬ 5月15日（金）
 - ★ 6月11日（木） 総会/理事会